

豊かな森と木のあるくらしの情報誌

おきなわの木

木のある
くらし編

2019



沖縄の森と人々のくらし

木の文化と環境に配慮した林業

おきなわの木と暮らす

沖縄県産木材を使った14例

沖縄の森を知る

森には、水を育み、災害や地球温暖化を防止するなど多くの働きがあります。人々を守り、潤いと安らぎを提供する沖縄の森を大切に守りましょう。



沖縄県

農林水産部 森林管理課

沖縄・森からのメッセージ

沖縄にも豊かな森があります。
亜熱帯海洋性気候の島には、
海からの風が吹き渡り、太陽の日差しが注ぎます。
一年を通して雨も多く、夏は台風がたびたびやってきます。
亜熱帯の森は、希少な生物たちの住み処であるとともに、
大昔から人々の暮らしを支え、
文化を育む大切な場所でもありました。
沖縄の森に親しみ、多くの人に好きになってもらいたい。
森で育つ木々たちの魅力ややさしさに触れて、
森を大切に思っしてほしい。
森と人とのよりよい関係が作られていきますように。
これからも暮らしのそばに
森や木々たちがいつもありますように。

沖縄・森からのメッセージ …… 2

沖縄の森を未来へつなぐ …… 4

「やんばるの森」とは
「守る」と「活かす」
持続可能な豊かな森へ

沖縄の木々・主な県産木材 …… 6

リュウキュウマツ
センダン
クスノキ
イタジイ
イジユ
アカギ
イヌマキ

おきなわの木と暮らす …… 8

屋嘉比さん宅（八重瀬町）
中地さん宅（沖縄市）
土ノ夢OKINAWA 沖縄やちむん×カフェ（糸満市）
楽園Cafe（那覇市）
久米島空港コワーキングカフェ風人（久米島町）
JIROCHO 酒一家（那覇市）
国頭村・「木育」の取り組み
いずみのもり保育園（那覇市）
沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ（恩納村）
光の子幼稚園（那覇市）
東村立保育所（東村）
沖縄県立図書館（那覇市）
GINOZA FARM LAB（宜野座村）
おきなわの木休憩スペースイオンモール沖縄ライカム（北中城村）
木の家具のお手入れ①②③

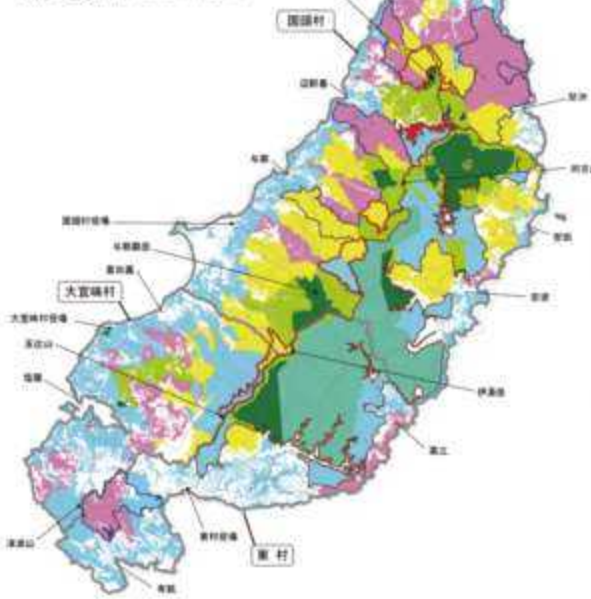
おきなわの木マメ豆知識 …… 18

おきなわの木でつくるリスト …… 20

おきなわの木と会えるイベント …… 22

「やんばる型森林業」
森林の利用区分

利用区分図（平成25年10月現在）



森林の役割

- CO2を吸収して地球温暖化を防止
- 豊かな水を育みながら洪水や土砂災害を防止
- 生物多様性の保全に貢献

自然公園	国立公園 国定公園 自然公園
自然環境保全区域	①自然環境保全区域（中核型） ②自然環境保全区域（緩衝帯）
国土保全区域	①国土保全区域
森林生産区域	①森林生産区域（自然環境配慮型） ②森林生産区域（自然環境調整型）
森林利用区域	①森林利用区域 ②森林利用区域（他の利用区分とエリアを兼ねる（図中に明示されない））



「守る」エリアと「活かす」エリアを区分けしています。その上で、バランスよく木を伐り、利用し、新たに苗を植える。そうすることで、未来へつなげる森林の持続的なサイクルが保たれます。

国立公園の地種区分と相違が生じている箇所については、今後、整合性を図る予定である。



森林認証とは、適切に森林経営が行われている森林に対して、独立した第三者機関が、一定の基準に照らして評価・認証する制度です。適切に管理された森林及び林業事業体に対する森林管理認証（F M認証）と、認証材の加工・流通にかかる事業体（認証材と非認証材が混ざらないよう分別管理できる事業体）に対するC o C認証があります。

持続可能な豊かな森へ

国頭村、大宜味村、東村の海岸部と森林が、2016年9月に全国で33番目の国立公園である「やんばる国立公園」に指定されました。固有種を含む多くの種類の野生生物が生息している「生物多様性」を実感できる国立公園です。2020年の世界自然遺産登録を目指して準備が進められています。

生物多様性を感じる豊かなやんばる地域の自然環境は、世界的にも貴重なものである一方、地域の人々の暮らしや文化と密接な関わりを持って、維持継承されてきました。この自然環境を適切に保全していくためには、保護するだけでなく、自然環境の特性に応じて持続可能な利用を図ることが不可欠です。

森林の適切な保全と賢い活用の両立を図ること、山村地域の持続可能な振興を実現することがやんばる地域に課せられた大きな宿命といえます。

そこで沖縄県では、「やんばる型森林業」の更なる飛躍に向けて、国頭村、東村、名護市にまたがる県営林において、森林の持つ様々な恩恵を十分に発揮させ、持続可能な森林経営を推進するための世界的取り組みの一つである「森林認証（F M認証）」を取得しました。

古くから県内の主要な木材の産地であり、人々の生活に貴重な恵みを与え続けてきたやんばるの森を、適切に保全し、持続可能な森林経営が実現できる森として、これからも守り、活用していきます。人々の暮らしと生態系のよい関係を持続していける森を目指しています。



沖縄の森を未来へつなぐ

沖縄の森は、世界でも希少な亜熱帯の森です。沖縄本島北部に広がる「やんばるの森」は国立公園に指定され、世界自然遺産登録を目指しています。貴重な生態系を守り、いにしえから人々の暮らしと共にあった森であり続けるために、「守る」と「活かす」の両立が図られています。

「やんばるの森」とは

沖縄県は、南北約400キロ、東西約1000キロという広大な海域に点在する49の有人島と多数の無人島で構成されています。黒潮が流れる暖かい海に囲まれ、海洋の影響を強く受ける亜熱帯海洋性気候に属し、高温・多湿な地域であることが特徴です。

沖縄本島北部に広がる「やんばるの森」は乾燥地帯の多い亜熱帯性気候の中でも珍しい、温帯に特徴的な樹種と、熱帯に特徴的な樹種が混生した豊かな森です。

やんばる地域は、琉球王国時代から近年まで、薪炭や建物の建設、船などの用材となる林産物の生産・供給の場として重要な役割を果たしていました。昭和に入ると、沖縄本島中南部との間で「山原船」による交易が盛んに行われていました。

「守る」と「活かす」

「沖縄らしい優しい社会の構築」と「強くしなやかな自立型経済の構築」を基軸的な考えとする「沖縄21世紀ビジョン」。その実現を目指すための「基本方

針」が示すように、やんばるの森は、現在でも、沖縄の特徴的な多種多様な木材を供給する役割に加え、沖縄本島中南部への水資源の供給地としても重要な役割を担っています。

向「やんばる基本政策」をまとめた「沖縄21世紀ビジョン基本計画」の中で、森林・林業は、「1. 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に育む島を目指して」、「2. 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して」、「3. 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して」の3体系で、自然環境の保全・再生・適正利用、防災体制の強化、亜熱帯性気候や島しょ性を生かした農林水産業の振興と基盤整備などに取り組んでいくこととしています。

やんばる三村（国頭村・大宜味村・東村）の森林については、自然環境の保全と環境に配慮した利活用の両立を図ることを目的に「やんばる型森林業」を推進しています。

2万7161ヘクタールに及ぶやんばるの森全体を、「守るべき区域」と「活かすべき区域」にエリアを分け、森林の多面的機能を発揮できるようにしています。

「活かすべき区域」では、高性能な林業機械の導入等により現地に適した収穫方法の確立や技術者の育成を行い、木の生育状態や市場の需要などに合わせて木を収穫し、そのあとに苗を植林して森の更新を図る持続可能な循環型の利用を行っています。



沖縄の木々・主な県産木材

亜熱帯海洋性気候の沖縄で育つ木々は個性派ぞろいです。多種多様な樹種の中から主に利用されている材について紹介します。



イジュ (伊集)
ツバキ科 常緑高木(7-20m)
方言名:イジュ
分布:奄美、徳之島、沖永良部、沖縄諸島、宮古(種林)、石垣、西表、与那国
用途:建築材、魚毒など



沖縄の固有種で、枝の先に葉や花が集中して付く木です。うりずん(初夏)の頃、樹冠に真っ白な花を咲かせて山を飾ります。秋には、どんぐりのような2cmほどの実をつけます。琉球王朝時代には主要な建築材として利用されていました。



イタジイ
ブナ科 常緑高木(10-25m)
別名:スタジイ、オキナワジイ
方言名:シイジャ、シイギ
分布:奄美群島～沖縄諸島、石垣、西表、与那国
用途:建築材、器具材、薪炭材、土木用材、椎茸楕木



やんばるの森林の多くを占めています。やんばるの森が「ブロッコリーの森」と形容される素晴らしい景色をつくります。幹はノグチゲラやヤンバルテナガコガネなどの住みかにもなります。かつては薪炭材の原料として重宝されました。シロアリに強いため付加価値の高い活用が期待できます。オキナワジイとして分類することもあります。



アカギ (赤木)
トウダイグサ科
常緑高木(5-25m)
方言名:アカン、アハギ、アカツギ
分布:沖縄諸島～先島諸島、奄美群島や大東、小笠原で野生化
用途:家具、農機具、工芸、小物類など



成長が早く、赤褐色の太い幹が特徴です。直径が1-1.5mにもなり、県内で最も大きくなる木の一つとされています。首里金城町の大アカギ群は国の天然記念物に指定されています。材は、赤みのある褐色で、木目は目立ちません。色ムラがありません。ことも特徴です。



イヌマキ (大楓)
マキ科 常緑高木(3-20m)
別名:マキ、クサマキ
方言名:チャーギ、キヤーギ、キヤーンギ
分布:関東～先島諸島
用途:建築材、家具材、器具材



雌雄異株で材はシロアリに強いので沖縄では古くから建築材として使用されてきました。首里城や中村家でも使用されています。チャーギの家は高級な家とされ、仏壇もチャーギで作られているものは最も高級なものとして扱われています。春に淡い黄色の花が咲き、夏から秋にかけて実をつけます。



沖縄ウッディフェア出展の
木匠21人に
聞きました!

あなたが好きな「おきなわの木」は? Best 3

- 👉 1位 **リュウキュウマツ (9票)**
【好きどころ】 木目の美しさ(全員) / 名前に「琉球」が入っているところ / 白くて明るい感じが好き / 乗木など / ゆらぎに癒される
 - 👉 2位 **クスノキ (7票)**
【好きどころ】 香り / 色 / 木目 / 加工のしやすさ / 小物から大物まで使える守備範囲の広さ / 手を加えれば加えるほど癒えてくれるところ
 - 👉 3位 **アカギ (4票)**
【好きどころ】 色 / ツヤ / 堅さ / 木目 / 個性があるところ
- そのほかは、4位:センダン、ガジュマル、イタジイ
7位:ユシギ、イジュ、タブノキ 10位:黒檀、カシ、チャーギ、オキナワウラジロガシ、相思樹、シークワサー、ヤラブ



クスノキ (樟)
クスノキ科
常緑高木(10-25m)
方言名:クスヌキ、クスヌチ
分布:関東～南西諸島。本来の自生は九州～屋久島といわれ、他は野生化。先島諸島で見られるのは珍しい
用途:建築材、器具材など



常緑広葉樹としては日本最大級の大きになります。葉や木全体からよい香りがします。沖縄では、樟腦の原料採取のため造林されました。葉の形や付き方から騒音を吸収する効果があるといわれ、街路樹にも利用されています。成長が早く、大きな材となり、建築材や造船材、家具材として利用されています。



リュウキュウマツ (琉球松)
マツ科 常緑高木(10-25m)
別名:リュウキュウアカマツ
方言名:マチ、マーチ、マチギ
分布:トカラ列島～先島諸島
用途:家具材、内装材、支柱、板材



琉球産唯一のマツ科樹木で、南西諸島の固有種。耐風性、耐潮性、耐乾性ともに優れ、環境の適応性と美しい樹姿から都市の緑化植物としても利用されています。沖縄全島にわたって広く分布し、生育していることなどから昭和47年10月に沖縄の代表的な樹木として県木に指定されました。材は帯黄褐色で樹脂を含んでいます。木目は美しく光沢があります。



センダン (栴檀)
センダン科 落葉高木(10-20m)
別名:アウチ
方言名:シンダン、シンダンギー
分布:関東～先島諸島、小笠原(本来の自生は四国・九州以南といわれる)
用途:家具材、器具材など



沖縄の広葉樹のなかでも成長の早い木の一つです。3月頃に薄紫の花をつけ、夏にはクマゼミが多く集まる木として知られています。軽くて耐久性が強い材です。昔は女の子が生まれると庭にセンダンを植え、嫁入りが決まったら花嫁道具としてセンダンでダンスを作って持たせたそうです。

<参考文献>
『ネイチャーガイド 琉球の樹木 奄美・沖縄～八重山の亜熱帯植物図鑑』大川智史



1. 中地さん宅のLDK。木造屋根の構造が見える高さのある空間はギャラリーのようでもあります。2. 玄関扉はどっしりとした佇まいです。3. 娘さんたちのために1台ずつ作られた学習机。天板中央に引き出しが付いています。4. アカギの一枚板を使った大きな座卓。「沖縄の木の中でアカギがお気に入り」という中地さん。座卓のほかにもアカギの家具が多くあります



「当初はデザイナーが家具の購入を検討していましたが、家の雰囲気によりマッチする沖縄の木の家具を選びました。」と話す中地調さん。

ご夫婦で集めた沖縄の工芸品やアート作品を生かせる空間づくりをテーマに家づくりを行い、その空間にふさわしい家具として丁寧なつくりの木の家具を選びました。

住宅完成後も三人の娘さんたちの成長に合わせて学習机が一台ずつ増え、壁に飾る絵を購入するたびに、絵の雰囲気

時のなかで魅力増す楽しさ

中地さん宅（沖縄市）

制作/工房 島安木

沖縄の工芸に造詣が深く、アートや音楽など芸術全般が大好きだと話す中地さんが家を建てたのは十一年前のこと。住宅建築中に出会った木工家に、まず最初に依頼したのはダイニングテーブルセットでした。住宅の設計が進むうちに、玄関扉の制作も依頼。さらに工房で目にしたアカギの一枚板で作られた大きな座卓もリビングに加わることになりました。

「最初はデザイナーが家具の購入を検討していましたが、家の雰囲気によりマッチする沖縄の木の家具を選びました。」と話す中地調さん。

ご夫婦で集めた沖縄の工芸品やアート作品を生かせる空間づくりをテーマに家づくりを行い、その空間にふさわしい家具として丁寧なつくりの木の家具を選びました。

住宅完成後も三人の娘さんたちの成長に合わせて学習机が一台ずつ増え、壁に飾る絵を購入するたびに、絵の雰囲気

おきなわの木と暮らす

沖縄県産の木材を使った内装材や家具、遊具などがいろいろなシーンで利用されています。木のぬくもりで暮らしを豊かに、使う人のそばでやさしく寄り添う事例を紹介します。

家族とともに暮らす木の家具

屋嘉比さん宅（八重瀬町）

制作/工房 地球のかけら



1. ダイニングスペースには、テーブルやカウンター、収納棚を設けました



2. リビングには、趣味のギターを納める楽器収納庫が置かれています（写真中央）。3. 玄関収納には、靴や室内用スリッパだけでなく、インターネット回線の設備なども取められ、すっきりと片付いています。4. 玄関用イスは靴の着脱をサポート。5. トイレの壁面に造り付けた収納棚

八重瀬町のサトウキビ畑が広がるのかな場所に建つ屋嘉比さん宅は、2018年夏に完成しました。玄関収納やダイニングスペースのテーブル、カウンター、収納棚をはじめ、リビングに置かれた楽器収納庫、和室の書棚、トイレの収納棚、玄関用イスなど、いろいろな用途の家具を沖縄県産木材で制作しました。建物の躯体がコンクリート造で屋根が木造になった混構造の住宅。室内の壁はしっかりと仕上げ、室内全体の柔らかい雰囲気に木のぬくもりがマッチした住宅です。

「室内は自然のものを使って仕上げたかったんです。家が完成する前に家具をオーダー。どの場所に置くのか、どんなふうにするのかなど要望を伝え、自由

作っていただきました。」と、すっかりした作りと、木目の美しさ、室内に漂う木の香りがとても気に入っていると話す屋嘉比さん。

「家の完成が近づいた頃に家具を考え始めました。オーダー家具は高いというイメージを持っていましたが、量販店で気に入ったものを探すと、やはりおなじような金額になってしまいました。それなら、家のスペースや自分たちのサイズに合わせたものを作ってもらおうほうがいいと考えました。細かいところにも配慮が行き届いていて、使い込むうちに良さを実感していくようですよ。」

新しい住宅で屋嘉比さん家族の暮らしに寄り添う木の家具です。



毎日使うこと&から拭きでOK!

木の家具のお手入れ①

木の家具をいつまでもきれいに使い続けるには、毎日使うことが一番です。特別なメンテナンスが必要なわけではありませんが、木の家具の日常的なお手入れは、一般的な拭き掃除と同じ。から拭きや、水気をしっかり絞ったふきんやぞうきんで拭けばOKなのです。

加えて年に一度程度、油分を塗りこんでケアを行うこともおすすめです。その際は、ツバキ油などの不乾性油という種類のオイルを乾いた布に少しずつ染み込ませて、塗り込みます。

そうして拭きこんでいくうちに、木肌の色が変化していき、購入時とは違う輝きになり、使う楽しさが増していきます。



木を楽しむ 店舗デザインと家具

JIROCHO 酒一家 (那覇市)

制作: 株式会社 ブルーム+JUNGLE STUDIO



1. 約8坪のスペースの店内。家具や内装に木が使われています。2. 店舗の外観。木を使ったデザインが目を引きま

国際通り近くにある店舗は目を引く木の外装。木の扉を開くと、小さな店内に客席がぎゅっと詰まっている印象です。地元客をはじめ観光客にも人気の居酒屋です。「沖縄らしさを意識して、沖縄の木をふんだんに使った店づくりをしました」と話すオーナーの大石玲さん。友人である家具の制作者が店舗デ

ザインを担当。約8坪のスペースに可能な限り客席を作ってほしいという要望を受け、テーブルの天板の形状や、イスの脚にアイアンを使い圧迫感を無くすなど工夫されています。さまざまな材の組み合わせで見せる木目や木肌の違い、木の断面を利用した装飾など、木の表情が楽しめる店舗です。



1. 店内のイスとテーブルの脚部にクスノキが使用されています。2. 窓際の客席では滑走路を離発着する飛行機が眺められます

飛行機を木の家具で出迎え

久米島空港 コワーキングカフェ 風人 (久米島町)

制作: 五え松工房



3. やさしい雰囲気がある丸いフォルムのイス。座り心地がよく人気です

2016年に久米島空港2階にオープンした coworking cafe「風人(かぜびと)」がカフェ「風人(かぜびと)」の公衆無線LANサービスWiFiやコピー機などを備え、町民をはじめ久米島を訪れる観光客、ビジネスマンなどに利用され、離発着する飛行機を見ながら待ち時間を過ごせるおしゃれなカフェとして人気です。

店内の家具を制作したのは久米島在住の木匠。座り心地のよい丸いフォルムのイスは、クスノキを使用したものです。テーブルの脚部にもクスノキが使用されています。飛行機に搭乗するお客さまだけでなく、飛行機好きも集まるというカフェスペースは、木のぬくもりで訪れる人を迎えます。

木のぬくもりで居心地の良さを提供

土〜夢 OKINAWA 沖縄やちむん×カフェ (糸満市)

制作: まっくる工房

糸満市の住宅街にある、ランチと沖縄のやちむんのカフェで提供するコーヒーが人気のカフェです。沖縄の工芸が大好きなオーナーの喜瀬文子さんが家族で営むカフェの店内は客席のテーブルとイスをはじめ、キッチンとホルルの間に設置したカウンターや棚、壁に飾られた花器など、店内のほとんどが沖縄の木で作られています。「もともと住宅だった建物をカフェに改装するにあたり

て、家具の制作と改装工事もすべて依頼しました」と話す喜瀬さん。家具には、クスノキやセシダン、リュウキユウマツなど、いろいろな材が使われています。いろいろな形のイスがあり、テーブルの天板は木の形を生かしたデザインです。ゆったりとした時間が流れ、つい長居したくなるような雰囲気の店内。多くのお客様に居心地の良さを提供しています。



おきなわの木と暮らす



1. 店内の客席は、沖縄の木で家具で作られたテーブルとイス。壁に飾られた花器なども木製です。2. カフェベースの棚には沖縄のやちむんのカップが並びます

地産地消で本物の良さを伝える

楽園Cafe デパートリウボウ2F (那覇市)

設計デザイン: Luft 真喜志奈美 / 制作: 大和産業・ゆりあ木工



2018年10月にオープンした「楽園Cafe」は、都会の真ん中でありながら、おとなのリゾート感あふれる落ち着いた店内です。モダンで洗練されたカフェ空間の中央には、二十人が着席できるクスのロングテーブルが設置されています。「沖縄のいいモノ・日本のいいモノ・世界のいいモノ」からだにいいモノ」をコンセプトに展開するなか、「沖縄のいいモノを強く発信していきたい」という思いから、店内設備に沖縄県産木材をふんだんに取り入れたと話すと話すと大嶺

佐紀子さん(佛リウボウインダストリー楽園企画係係長)。「県出身のデザイナーと設計を進めていく中で、県産木材を利用した設備をご提案いただきました。お客様にも手触りを楽しんでいただいている、本物の良さを伝えられるいいモノに仕上がりました。「楽園Cafe」を象徴するロングテーブルのほか、4人掛けテーブルやイスにも県産木材が使用されています。「県産木材の種類が多いことに驚きました。地産地消といわれるように、地元のことを身近に利用することができたことは県民として誇らしいことです。」



1、2. 中央にあるクスのロングテーブルは約7m。いろんな人が同じテーブルを囲むイメージでデザインされました。イスはイタジイやクスのノキが使用されています

木の家具のお手入れ②

天板にできたシミ 落としてキレイに

テーブルの天板にはいろいろな物がのせられます。木のテーブルを使用するときに注意したいのが、極度に熱いものや変色の原因になるような物は直接置かないようにすることです。特に無垢材のテーブルはシミになりやすく、シミが付いてしまうと、拭いただけでは落ちません。

無垢材のテーブルにシミが付いてしまった場合、軽いシミならきれいな布などで表面の汚れを取り、目の細かいサンドペーパーで優しくこすります。このとき、必ず木目に沿って行いましょう。シミが取れたら、ツバキ油やアマニ油などのオイルを布に染み込ませて塗りこむとよいです。いつものまにかきこむとよいです。いつものまにかきこむとよいです。いつものまにかきこむとよいです。



地元の木材を活用する「木育」 木に親しんで森を理解

国頭村・国頭村森林組合

「木育」とは、すべての人が木と触れ合い、木に学び、木と生きる取り組みです。国頭村と国頭村森林組合が行う、人と木、人と森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育む取り組み「木育」について紹介します。

国頭村の「ウッドスタート宣言」

「ウッドスタート」とは、2010年に東京おもちゃ美術館で始まった子育てに地元の木材を積極的に活用しようとする「木育」推進の取り組みです。国頭村は、2013年「やんばるの森おもちゃ美術館」の開設に伴い、「ウッドスタート宣言」を行いました。村では、2003年から村内の小学校で地元の木で作られた学童机を使用する「新一年生の木机、腰掛け事業」を行っていますが、ウッドスタート宣言を行ったことで、村内で誕生した赤ちゃんに木で作った玩具を贈る「誕生祝い品事業」では、リュウキュウマツで作った「やんばるくいな積み木」をプレゼントしています。



国頭村内で誕生した赤ちゃんに贈呈されるリュウキュウマツで作られた「やんばるくいな積み木」。依頼すればお子さんの名前と生年月日を入れることができます

「ウッドスタート宣言」は、「住民課で出生届が提出された際に積み木を贈呈しています。国頭村では、年間約四十人の赤ちゃんが誕生。木に触れて、良きを知ってもらおうスタートになれば」と事業に込められた思いを話します。やんばるの森林は、戦後の沖繩の復興に活用されました。現在も、林業は国頭村の重要な産業であり、木材の取壊とともに、積極的な植林活動が行われています。2016年にやんばるの陸域と海域を併せた1万6300ヘクタールが国立公園に指定され、2020年の世界自然遺産登録へ向けて取り組みが進められています。そうした中で、環境保全の声が高まるにつれ、やんばるの森での林業へ正しい理解が必要とされています。「国頭村では、木育を通して、林業への正しい理解を広めたいと考えています。森を健全に保つには、程よく木を利用することも大切。小さな頃から木が身近にある環境づくりを行うことが、森の環境を守り、林業への理解にもつながると考えています」。

子供の頃から木がそばにある環境づくりを行うことで、自然を大切にすることが育まれる。環境を守り、木の良さや文化を伝え、村の産業の活性化にもつながる、国頭村が進める「木育」にはそうした目標があります。今後はさらに、やんばるの森に生息する希少生物の保全と木育を結びつけた活動を行っていきたくとしています。

入学前に学習、机を親子で組み立てる

国頭村内の小学校では、児童全員が木の学童机を使用しています。すべて県産のウラジロエノキを使用した学童机で、入学時に新一年生全員に村から贈られるものです。

辺土名小学校教頭の新城雄二郎先生は、「新一年生は、入学式の前日に、机ができるまでの流れを学び、親子で机を組み立てます。「親子学習机の組み立て体験」で、辺土名小と奥間小の体育館で毎年交互に開催しています」。

机の組み立て前には、ウラジロエノキの苗の状態から、成長した大木を伐採後板材にし、机になっていく過程が紹介されます。地元の人たちが大切に育てた木で、丁寧に手作りされた物であることが伝わり、地域愛にもつながっていると新城先生は話します。この机とイスは6年間使用し、卒業時にはそれぞれ持ち帰ります。



ウラジロエノキで作られた学童机とイス。上下に分かれたパーツをネジで固定しています。成長に合わせて高さを変えることができます

ることができません。ずっと使い続けるため、子供たちは物を大切にしようになるのだそうです。

「物を大切にする心が育まれることはもちろんですが、地域の木で地域の人たちが作った物を使う、地域に支えられている、その良さを感じて育ててほしい」と新城先生は話します。

「材料の無駄を省いて丁寧に作っています」

国頭村の学童机は、五十年以上建具制作に携わる専門家・大城武光さんが制作しています。大城さんは、ウラジロエノキの材を机の天板と脚部に使用する部分に見極め、材の無駄を極力省いた制作を心がけています。「年間四十、五十台の机を制作しながら、修理も行っています。長く大事に使ってもらえたらうれしい」。



丁寧な仕事で国頭村の学童机を支える大城さんです。

学童机をつくる人



光家具 大城武光さん

やんばる森の「木育」キャラバン

おもちゃ貸し出し
本島各地へ出張開催

国頭村森林公園内にある「やんばる森のおもちゃ美術館」は、2013年にオープンした体験型ミュージアムです。やんばるの森の魅力伝えるため、沖縄県産の木材で作られた館内には、やんばるの材を生かした三十種類以上の木のおもちゃで遊ぶことができます。国頭村では、おもちゃ美術館の魅力をもっと多くの人に体験してもらおうと、「木育キャラバン」を展開。おもちゃの貸し出しと、移動型おもちゃ美術館を行っています。



「やんばる森のおもちゃ美術館」内観。木の香り漂う空間です

に楽しんでもらうことが可能。移動型おもちゃ美術館では、沖縄本島内の保育園や幼稚園などへ出張しています。毎年、本島北部で開催されるダム祭りや木関連イベント会場へも出張開催しています。見かけたらぜひ遊んでみて下さい。



木育キャラバンの様子。各地の保育園や幼稚園へ出張。ダム祭りや木関連イベント会場での出張開催も行っています

お問い合わせ 国頭村役場 経済課
TEL0980-41-2122 FAX0980-41-5910
担当：山城 yamashiroh@vil.kunigami.lg.jp

絵本と木の本棚 木を身近に感じる場に

学校法人 首里パプテスト学園
光の子幼稚園 (那覇市)

制作：工房 地球のかけら

那覇市首里山川町の光の子幼稚園では、2017年に県が実施した「私立幼稚園読書環境整備事業」の補助を受けて新しい絵本と、絵本や紙しばいを収納する本棚を購入しました。県産木材で制作された本棚には、絵本三百冊以上と、これまで倉庫にしまわれていた紙芝居がすべて納まりました。

「本棚が届いたばかりの頃、木の香りでいっぱいになり子どもたちも大喜びでした。子供たちには本物の木に触れさせたいと考えているので、本当にかかったです」と石嶺英子先生。引き出しに紙しばいが収納できるようになり、活用しやすくなったと喜びます。自由遊びの時間になると本棚のそばに子供たちが集まり、絵本を広げるようになりました。



1, 2. 教室と職員室の間にあるプレイルームに設置された本棚。上段と下段が分かれるセパレート型の本棚です。3. 下段の引き出しには紙しばいを収納。4. 扉にデザインされたフクロウは子供たちに人気です。

保育室の内装材として利用

東村立保育所 (東村) 設計：株式会社 国古設計

2011年度に開設された東村立保育所は、木造で建築された村内で唯一の保育所です。建物の内装材に沖縄県産木材が用いられています。玄関ホールにはリュウキュウマツの壁材、廊下の壁にはイジュの壁材が使われています。壁には使用されている木の名前を書いたシールが貼られており、ひと目でわかるようにしています。



1. 保育所内の遊戯室。壁面にイジュの木が用いられています。2. 玄関ホールの壁面にはリュウキュウマツが用いられています。3. 東村立保育所外観

1. 保育園入口に設置された木かけスペース。本物の木の幹に造花の枝葉をつけて木を感じるスペースにしました。2. 保育園内のほぼ中央に設置した木のたまごプール。子供たちには自然の物に触れさせたいという考えから設置しました。木の香りが園内に広がります。



木のたまご制作：国頭村森林組合

都会の保育園で発揮する自然の力

(公財) 沖縄県労働者福祉基金協会
いずみのもり保育園 (那覇市)

「以前はオフィスとして使われていた場所なので、保育園として機能させるには難しい場所でした。園児たちを遊ばせる園庭もありませんが、木のたまごプールが十分でない環境を補ってあげたい」と話すのは園長の前盛悦美さん。

0歳から2歳までの園児33人を預かる保育園では、広い室内を家具で仕切り、保育室をエリア分けしています。そのほぼ中央のスペースにリュウキュウマツで作られたたまご三ヶ個が入った木のプールが設置されています。

「どんなに泣いていた子供でも、このプールに連れて来て座らせると、みんな穏やかにおとなしく絵本の読み聞かせを聞いてくれるようになるんです。それは大人も同じようで、お母さんが迎えに来た時、ここにしばらく座っているのが癒された」と言って帰っていくんです。無機質な環境だからこそ、自然の物に触れる大切さと自然の物が持つ力を実感している保育園です。



おきなわの木と暮らす

那覇市泉崎にある「いずみのもり保育園」は、テナントビルの一階に開設した保育園です。周囲はビルやマンションが建ち並び、窓を開けると県道が走る。車も人の通りも多い場所にあります。

「以前はオフィスとして使われていた場所なので、保育園として機能させるには難しい場所でした。園児たちを遊ばせる園庭もありませんが、木のたまごプールが十分でない環境を補ってあげたい」と話すのは園長の前盛悦美さん。

0歳から2歳までの園児33人を預かる保育園では、広い室内を家具で仕切り、保育室をエリア分けしています。そのほぼ中央のスペースにリュウキュウマツで作られたたまご三ヶ個が入った木のプールが設置されています。

沖縄の木文化と遊びで5感を覚ます

沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ (恩納村)

木のたまご制作：国頭村森林組合

恩納村の豊かな自然に囲まれた癒しの空間を提供する沖縄かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパでは、2017年に開業三十周年を迎えたことを機に「かりゆしワンダーランド」と新たにテーマを定め、沖縄の自然を五感で感じるホテルづくりに取り組みんでいます。

ホテル一階に設けられたキッズスペース「ワンダールーム」もその一環。沖縄の木文化と遊びを通して五感を呼び覚まし、ホテル周辺の自然を楽しむための入り口となるワンダールームでは、リュウキュウマツで作られた木のたまごと五種類の沖縄県産木で作られた積み木が設置されています。



1. ホテル1階「ワンダールーム」。沖縄県産木を使った木のたまごプールと積み木が設置されています。2. ワンダールーム入り口。3. 5種類の沖縄県産木で作られた積み木。木の違いがわかります。



イオンモール
沖縄ライカム
常設展示

“おきなわの木” 休憩スペースできました！

おきなわの木を使った家具を常設展示しながら、休憩できるスペースを設けました。リュウキュウマツやセンダン、クスノキなど、「おきなわの木」で作られたの家具を見て、触れて、体感して下さい。
あなたの暮らしの空間にも、「おきなわの木」を使った家具はいかがでしょう？

場所：イオンモール沖縄ライカム 4階イオンスタイル前（トイザラス前）

制作：株式会社 ブルーム、工房 島安木、国頭村森林組合、企業組合 キンモク



●温度・湿度について
湿度が高いと木が膨張し、扉や引き出しの開閉がしにくくなります。高温多湿はカビやダニが発生する原因にもなります。湿度が低いと木が収縮し、割れや反りの原因にも。エアコンやヒーターなどは、直接家具に当てないようにしましょう。
木の家具には湿度40〜60%くらいが良いとされています。天気の良い日には換気を行い、風通しを良くして下さい。定期的な換気を行うことが木の家具を良い状態に保つコツです。

●設置場所について
家具は水平な場所に設置して下さい。家具を置く床などが傾いていると、家具にゆがみが生じ、破損の原因になります。直射日光に長時間さらされると変色や割れの原因になるので、避けましょう。

木の家具のお手入れ③

木の家具これで
キレイに長持ち*

木の家具は木目の美しさや色の変化など、使い込むほどに味わいが出る良さがあります。長く使い続けられるよう、次のことに配慮することをオススメします。



1. 県立図書館エントランス。各階に設けられたインフォメーション・サービスカウンターにリュウキュウマツが使用されています。2. 読みきかせ室に設けられた木をかたどった絵本棚にも使用されています

新しいスポットでも“おきなわの木”

沖縄県立図書館（那覇市）

制作：キハラ 株式会社

2018年、旭橋再開発事業区域に完成した「カブリーナ旭橋A街区」に同年12月、沖縄県立図書館がリニューアルオープンしました。3〜6階の図書館エリアの総面積は約1万3千平方メートル。旧図書館に比べ約3倍の蔵書が可能になりました。那覇バスターミナルや商業施設が併設された複合施設内に開館したことで、さらに利用者の増加が期待されています。

新しい館内の各階には、サービスカウンターが設置されており、カウンターにはリュウキュウマツが使用されています。リユウキュウマツの自然な木目を生かしたデザインが、木の温もりを感じさせます。ほかにも、3階の読みきかせ室では、大きな木をかたどった絵本棚があり、ここでもリュウキュウマツが使用されています。伝統と新しさが融合する新しい「知の拠点」として開館した県立図書館。沖縄県産木材が、図書館を利用する皆さんに親しまれ快適に利用できる空間づくりに役立っています。

宜野座村観光拠点施設 道の駅ぎのぎ

COFFEE&BREAK
GINOZA FARM LAB (宜野座村)

ギノザファームラボ

制作：株式会社 ブルーム+JUNGLE STUDIO



1.5種類の沖縄県産木で作られたトレー。形状や重さに配慮して開発されました

2018年4月にリニューアルオープンした「道の駅ぎのぎ」は、宜野座村観光拠点施設です。新しく完成した建物2階にある「ギノザファームラボ」は、海を臨む展望スペースを備えたカフェレストラン。県産食材を使ったメニューが人気です。料理は木製トレイで提供。リュウキュウマツ、クスノキ、センダン、アカギ、イジユといった5種類の木材が使われたオリジナルトレイです。カフェ開設にあたり、オーナーの石井雄一郎さんと制作者として綿密に

開発されました。「お客様にも評判で、購入を希望される方もいらっしゃるんです」。店内中央にあるカウンターも県産木材で制作されたものです。東海岸の新しいランドマークとして注目される同施設は、県内外から多く人が訪れる場所です。沖縄の食を世界に発信したいと夢を語るオーナーがつくる空間で、お客様をおもてなしします。



2. 店内中央に設置されたカウンター。クスノキで作られています。
3. 「道の駅ぎのぎ」外観



本部町備瀬のフクギ並木

利用範囲の広いフクギは高機能！

本部町備瀬で見られる美しいフクギ並木。防風林として知られるフクギですが、利用範囲の広い役立つ木です。

フクギは生命力が強く、根を切っても根元から芽を出し再生します。成長すると、隣接する木どうしで根が合体し防災効果を発揮します。肉厚な葉は潮風害に強く、火災にあっても燃えにくいので、火事が起きても広がるのを防いでくれます。材は防虫のため一年ほど海底に埋めておくと、強度が増し、建築用材としても利用できるのだそう。幹の皮や葉からは黄色の染料が取れます。直根性で三角状の樹形で伸びていくため屋敷林としても育てやすく、なんと実も食べられるそうです。防災林として機能が高く、1771年に宮古・八重山地方を襲った「明和の大津波」でも多くのフクギが津波被害に耐え、残っていたのだそうです。

リュウキュウマツの木目はいつできる？

リュウキュウマツの木目を見ると、クリーム色のような薄い色の部分とくっきりとした茶色の部分があります。色の薄い部分は、春から夏にかけて作られる木目で、茶色の部分は秋から冬にかけて作られる木目です。温暖な沖縄で育つ松である特徴が木目を見るだけでわかります。



リュウキュウマツの木目にもいろいろあります

世界でも珍しいやんばるの森



亜熱帯地域は、地球上で温度指数（暖かさの指数）が180～240の間に分布するといわれ、熱帯の高緯度側の南・北緯20～30度の間の地域が含まれます。さらに、降水量によって湿润気候と乾燥気候に分けられますが、森林が形成される湿润なところは亜熱帯地域の1/3しかありません。海に囲まれた沖縄では、黒潮と季節風、台風が豊富な降水量をもたらす、森林が形成されています。やんばるの森は、絶妙なバランスの上に成り立っている世界的にも貴重な森です。

天然記念物たちが住む木



やんばるの森に多く育つイタジイは、秋になるとどんぐりの実をつける、動物たちにとってありがたい木です。天然記念物で沖縄県の県鳥、東村の村鳥であるノグチゲラやヤンバルテナガコガネたちの住みかでもあります。

おきなわの木 マメ知識



おきなわの木にまつわるマメ知識をご紹介します！ぜひ森へ出かけて本物の木に触れて下さいね

巻物の軸にアカギが使われていた！？



平安時代に編さんされた『延喜式』（平安時代の法令集）には、南島の「赤木」が大宰府から中央へ貢進されていたことが記されています。内蔵寮（天皇の宝物・日常用の物品・装束の調達と管理。米倉・物品倉庫の管理を行う）へ納められた後、内匠寮（宮中の調度の制作、装飾を行う）で軸に加工され、親王の位記軸として使用されたそうです。位記とは、位階を授けられる者に与えられる文書のことです。いわゆる巻物のこと。ほかにも、正倉院におさめられている経典などの軸にもアカギが使われているものがあるそうです。

ガジュマルは歩く？！

大きく広がった枝からヒゲのような気根を垂らしているガジュマル。気根が成長して地面に到達すると、そこから水や養分を吸収します。もともとの根の部分の栄養が無くなると、気根だった部分が幹となり成長し続けます。そうすると、ガジュマルの木そのものの重心が少しずつ移っていくことになり、まるでガジュマルが歩いているように見えるというわけです。もちろん、長い年月をかけて移動するので、長い時間をかけた貴重な一歩といえるかもしれません。



日本で一番重い木、一番軽い木

沖縄県の県花「デイゴ」。春から初夏にかけて赤い花を咲かせる木です。木材は軟らかく削りやすいので漆器の木地に使用されています。デイゴは、日本で一番軽い木として知られています。一方、日本で一番重い木は「イスノキ」です。方言名「ユシギ」と呼ばれる木は、同じく赤い花を咲かせます。木材は家具や箸、木刀などに使われる堅い木でもあります。日本で一番重い木と軽い木の両方が沖縄にあります。



伊勢神宮の神宝・太刀にもアカギが！？

伊勢神宮の神宝の一つに赤木の柄の太刀「須我流横刀」があります。文武3（699）年に南島の人が伊勢神宮などの諸社に奉獻した例があり、こうした奉獻を機に南島のアカギが伝統的に使用されたのではとされています。式年遷宮のたびに、アカギの柄の太刀が作製されているようで、昭和4年の式年遷宮の際には、首里城下のアカギを伐採製材し奉獻した記録もあるそうです。



<参考文献>『禁温と林政八書の世界』仲間秀榮／『古代日本と南島の交流』山里純一／『やんばる地域の国立公園に関する基本的な考え方』環境省那覇自然環境事務所 <情報提供>やんばるの森おもちゃ美術館（国頭村）

てるる詩の木工房 高良 輝幸

〒904-2232 うるま市川田416-1 TEL098-974-1780

Pua melia 大城 欣哉

〒904-0328 読谷村宇字座328-1 TEL070-5810-4292

優演家 濱本 盛充

〒903-0815 那覇市首里金城町4-74-33

ピノキオ工房 福地 正人

〒902-0071 那覇市繁多川1-5-19 TEL098-853-0801

木製品販売

コザ工芸館 ふんどう

〒904-0004 沖縄市中央1-11-2 TEL098-934-2213

沖縄工房家具 mokumoku

〒901-2223 宜野湾市大山5-17-5 TEL098-897-5755

東風平木工芸組合 木の工房 楽樹

〒901-0403 八重瀬町世名城1569-2 TEL098-998-0078

木材販売

沖縄県森林組合連合会

〒901-1101 南風原町字大名95-1 TEL098-888-0676

離島

家具

五え松工房 富良 耕史郎

〒901-3136 久米島町仲地184-5 TEL090-1946-6960

トマイ木工所 戸真伊 廣

〒907-0023 石垣市石垣524-81 TEL0980-82-4362

宮古木工芸 与儀 昌樹

〒906-0013 宮古島市平良下里2616 TEL0980-73-3001

むら工芸 古村 茂

〒907-0024 石垣市新川56 TEL0980-83-4130

小物・食器・カトラリー

イルカクラフト 川原 輝久

〒907-0023 石垣市字石垣1396-2 TEL090-9787-2460

アート

studio ゆい 小川 京子

〒906-0013 宮古島市平良字下里549 TEL0980-72-2582

木材販売

宮古森林組合

〒906-0007 宮古島市平良字東仲宗根968-3
宮古林業総合センター2F TEL0980-73-8191

八重山森林組合

〒907-0023 石垣市石垣1396-2 TEL0980-82-4097

ひつじ工芸舎 永尾 陽祐

〒901-0153 那覇市宇栄原4-5-12-401 TEL090-4299-9367

平と米の制作所=平米 平安山 なほみ・米須 美紀

〒904-1113 うるま市石川山城192 TEL080-3983-6461

まっくる屋工房 伊礼 範雄

〒901-0616 南城市玉城前川419-1 TEL098-948-3379

空) ヤマウチ 山内 拓

〒901-2202 宜野湾市普天間2-1-13 TEL090-4513-3668

ゆりあ木工房 西銘 圭吾

〒901-0211 豊見城市饒波16-1 TEL090-3322-2961

小物・食器・カトラリー

カネセン工房 千木良 芳弘

〒904-2165 沖縄市宮里2丁目19-7 TEL098-938-7040

木工家具 杉の 杉野 義則

〒901-0153 那覇市宇栄原2-20-5 TEL098-858-2075

知念パネル 知念 兼秀

〒901-0336 糸満市真壁1195-4 TEL090-7587-5732

桃原木 桃原 司

〒901-2203 宜野湾市野嵩2-11-2 TEL090-3796-2850

HAKO CRAFT 田村 康治

〒901-0403 八重瀬町世名城1569-2 TEL098-998-0078

晴工房 比嘉 啓晴

〒901-0205 豊見城市字根差部228番地 TEL090-3014-3986

村山工房 村山 豊

〒901-0604 南城市玉城字玉城169-1 TEL098-948-3687

もか工房 與那覇 信幸

〒904-0113 北谷町字宮城1-134 TEL090-6423-8580

木工房 もり〜む 森根 理恵

〒901-2223 宜野湾市大山5-17-5 TEL098-897-5755

ゆらりら工房 金城 久美子

〒904-0031 沖縄市上地2-18-16 (アランフェス工房内) TEL098-932-3774

漆器・アクセサリー

田里木器 田里 友一郎

〒901-0335 糸満市米須147 TEL080-3187-3912

Techura works 高橋 哲平

〒903-0802 那覇市首里大名町 TEL070-5276-8876

木とうるし工房 めりとん 森田 哲也

〒901-0516 八重瀬町字仲座834-2 TEL098-998-0507

楽器・アート・玩具・その他

工房・たまき 玉城 正昌

〒901-0362 糸満市真栄里2046-3 TEL098-995-1322

中南部

家具

ABECRAFT 阿部 誠司

〒901-0611 南城市玉城富里197-1 TEL090-1946-2333

アランフェス工房 渡久地 政幸

〒904-0031 沖縄市上地2-18-16 TEL098-932-3774

うりぼう 瓜田 一

〒901-1103 南風原町与那覇142-2-3-3 TEL090-6859-6048

WOODY はる房 屋良 朝治

〒901-0615 南城市玉城堀川497-4 TEL098-948-3917

おと木工 杉山 允也

〒901-0335 糸満市米須147 TEL090-4855-3834

家具工房 KAN 石川 寛

〒901-2102 浦添市前田411-1 TEL098-879-1314

木工房 木妖精 (きじむなゐ) 外間 剛道

〒903-0125 西原町上原75-1

木工房 木彫屋 森長 武一

〒901-0611 南城市玉城富里91 TEL090-8292-9153

GRAIN 小橋川 剛右

〒901-0416 八重瀬町字宜次703-1-2F TEL098-998-1743

くるんクラフト 比嘉 繁伸

〒901-2224 宜野湾市真志喜1-9-5 101 TEL090-8667-9834

座安木工所 座安 孝

〒901-0153 那覇市宇栄原5-11-2 TEL090-7585-4191

JOY 工房 上里 充

〒901-0403 八重瀬町世名城1569-2 TEL098-998-0078

太平木工事業協同組合 宮里 善作

〒901-1101 南風原町字大名95-2 TEL098-888-6437

工房 地球のかけら 古我知 毅

〒901-0403 八重瀬町世名城1569-2 TEL098-998-0078

TREE TAILOR 玉城 泰

〒901-0335 糸満市米須147 TEL090-4471-4055

テツモク 豊田 悠

〒904-0033 沖縄市山内 Mail:tetumoku2010@yahoo.co.jp

木工“T” 當山 清貴

〒901-0335 糸満市米須147

工房 島変木 屋宜 政廣

〒904-2143 沖縄市知花5-24-8 TEL098-989-3103

Banana Furniture Store 神田 優枝

〒904-2223 うるま市具志川 Mail:bananaspd22@yahoo.co.jp

木工房 ひかり 岩田 望美

〒901-0403 八重瀬町世名城1569-2 TEL098-998-0078

おきなわの木でつくるリスト

おきなわの木を扱っている皆さんをご紹介します (五十音順)



北部

家具

社会福祉法人 いしなく福祉会

〒905-0006 名護市宇茂佐804番地2 TEL0980-52-1479

光家具 大城 武光

〒905-0011 名護市宮里1485 TEL0980-52-1791

株式会社 ブルーム (JUNGLE STUDIO) 相羽 余史媛

〒905-0201 本部町具志堅306 TEL0980-48-2729

小物・食器・カトラリー

工房 うるはし 鈴木 仁

〒901-2132 大宜味村吾如嘉2130 TEL090-6857-0133

Ota Craft 大田 浩之

〒905-1412 国頭村字奥間1667-1 TEL090-1368-4115

オサム工房 金城 修

〒905-1303 大宜味村字喜如嘉517 TEL0980-44-3378

たま木工商店 玉元 利幸

〒905-1201 東村字高江98-1 TEL090-3198-6899

とと工房 島袋 毅

〒905-1427 国頭村字与那139 TEL0980-43-9267

木工房 椋 山川 均

〒905-1413 国頭村比地730 TEL090-8294-7050

洋屋 野田 洋

〒905-1411 国頭村字辺土名189-1 TEL0980-43-0209

アート・玩具・その他

Horywood 工房 大堀 美知雄

〒905-1155 名護市我部祖河149-1 TEL0980-54-3308

木製品販売

木彫・漆工芸 ゆん 兼次 幸子

〒904-1201 金武町字金武7906-1 TEL090-1947-3643

木材販売

企業組合 キンモク

〒904-1201 金武町金武10392-4 TEL098-968-6767

国頭村森林組合

〒905-1427 国頭村字与那1258 TEL0980-41-5421

国頭村森林組合

〒905-1427 国頭村字与那1258 TEL0980-41-5421

国頭村森林組合

〒905-1427 国頭村字与那1258 TEL0980-41-5421



木のやさしさには、たくさんの効果があります。

実は“柔らかい”？、 木材ならではの性質

木材は、樹木が生きていたときにつくられたパイプ状の細胞の集合体。空隙の多い構造であるため、コンクリートと比べても衝撃を吸収しやすく、たわみ変形による衝撃緩和作用もあるといわれています。こうした性質を利用し、住宅のフローリングや、身体への衝撃の緩和が期待される体育館などの床にも多く使われています。

湿度を調節して 快適な空間をつくる

木には湿度が高くなると水分を吸収し、低くなると水分を放出して、室内の湿度を一定に保つ働きがあります。睡眠時の室内では、人の呼吸や汗によって湿度が上昇しますが、内装材に木材を用いた部屋では、季節にかかわらずビニルクロス壁紙の部屋よりも湿度の上昇が抑えられることが実験により分かっています。

木の香りで、心も体も リラックス

木の香りにはストレスをやわらげ、心と体をリラックスさせる働きがあります。香りが私たちの気分に影響を与えることは経験的に知られていますが、近年では血圧が下がるといった計測データに基づいた、リラックス状態の評価も進み、木の香りによるリラックス効果が明らかになってきました。一息つきたいとき、木の香りでリフレッシュ、なんていかがでしょう。

※林野庁「明日にわたそう。森のバトン！木づかいブック」より



おきなわの木に会えるイベント

沖縄ウッディフェア

県産木材のPRと、作り手の技術向上などを目的に毎年11月頃に開催されています。県内の木工房や各工芸工房が多く集う木工関連イベントです。県産木材を使った木工家具や小物をはじめ、食器や漆工品など木関連製品が多く展示販売されます。ほかにも、出展者から提供された製品のチャリティオークション、木工体験コーナー、苗木の無料配布なども行われます。



- 沖縄本島中南部で毎年11月頃開催
- 開催期間：3日間
- 主催：沖縄ウッディフェア実行委員会



沖縄の産業まつり

毎年10月に、奥武山公園・県立武道館を会場に、県産品を扱う企業などが一堂に会して展示販売を行う県内最大の総合産業展です。食品や農産物、工芸品、衣料品などの展示即売が行われるほか、新作・新技術の展示紹介なども行われています。各市町村の商工会の出展エリアもあり、毎年多くの来場者でにぎわいます。



- 那覇市・奥武山公園、県立武道館で
- 毎年10月頃開催
- 開催期間：3日間
- 主催：沖縄の産業まつり実行委員会 (公益社団法人沖縄県工業連合会内)



写真提供：沖縄観光コンベンションビューロー

おきなわ花と食のフェスティバル

「地産地消」をテーマに、新鮮で良質な沖縄の農林水産物・加工食品等を広く県民に紹介する「おきなわ花と食のフェスティバル」。消費者と生産者等との交流を通じて、関係団体、市町村、県等が一体となって実施しており、見て・食べて・体験できる催物が盛りだくさんです。



- 那覇市・奥武山公園、県立武道館など
- 毎年1月頃開催
- 開催期間：3日間
- 主催：おきなわ花と食のフェスティバル推進本部



「おきなわの木」ホームページ開設！

沖縄県の木工作家と、県産木材の地産地消を応援するサイトです！

県内外で開催される沖縄の木に関連するイベントの開催情報や、県産木材を取り扱っている事業者などを紹介しています。県産木材を使ってものづくりを行う作家さんたちを紹介するトピック記事、おきなわの街木の紹介なども掲載しています。

「おきなわの木」を皆さんの暮らしの中でご利用下さい！

おきなわの木 で検索！
<http://saion-wood.jp/wordpress/>

